

平成28年度 第3学年 後期授業アンケート 分析表

現代文B	授業の進度や難易度は上がってきているが、全般的によく努力している。現代の諸問題に焦点を当てた様々なテーマに対する興味関心を高め、自ら社会問題へと切り込んでいく力を養うことのできる授業を目指したい。
古典B	現代文同様、授業の進度や難易度は上がっているが、全般的によく努力している。予習復習も概ね出来ている。古典への興味関心が高い生徒も多く、今後も学習目標を明確にして理解や感動を深め、古典の世界を味わえる授業を目指したい。
世界史B	多くの生徒が授業内容・進度に満足しており、興味関心も高まったと回答している。協同的なグループ学習の実施については、機会をとらえてできるだけ実施したい。今後も教材研究に力を入れ、全ての生徒の要望に応えるよう取り組んでいきたい。
日本史B	大部分の生徒が肯定的に捉えていたものの、授業進度をかなり速めたことで理解を深めきれなかった部分も多い。興味関心を高めて自学自習の習慣をつけることでカバーしていきたい。
地理B	授業のわかりやすさ・進度などは概ね良好な意見がみられた。後期に入り、演習の時間が増えていったが、多くの生徒が集中して授業に臨んでいる姿が見られる。前期に比べ、グループ学習も取り入れていった。さらに思考力が高められる授業を心がけたい。
政治・経済	難民問題や国際貿易等、国内外の時事問題にリンクした授業を展開したため、生徒は授業に集中して取り組めており、授業の難易度もちょうど良いと回答している。引き続き、知識の定着にとどまらず、既有知識を使って課題解決にむけて協議・討論するような授業に取り組みたい。
数学Ⅲ	授業のわかりやすさなど授業内容には多くの生徒が満足している。使用教材の難易度も適切であったと考えている。計算力を求められる内容に苦勞する生徒が多く、予習・授業・復習の習慣を確立させたい。
発展数学 ⅠAⅡBα (文系)	授業のレベル、進度や理解度などちょうど良いと感じている生徒が多い。予習・復習にも概ねよく取り組んでいるように思う。クラス固定で授業ができる良さがあり、適宜グループ学習を取り入れることができた。今後も基本を押さえ、わかりやすい解説を行っていく。
発展数学 ⅠAⅡBβ (文系)	授業のレベル、進度や理解度などちょうど良いと感じている生徒が多い。予習・復習も概ねよく取り組んでいるように思う。2クラス3展開の少人数(習熟度別)授業の効果もあったと思う。今後も基本を押さえ、わかりやすい解説を行っていく。
発展数学 ⅠAⅡBⅢ (理系)	授業のわかりやすさなど授業内容には多くの生徒が満足している。使用教材の難易度も適切であったと考えている。今後も基礎力・応用力を育成するために、分かりやすい授業を心掛けていく。予習を徹底させていきたい。
物理	大部分の生徒が集中して取り組んでいる。ただ、授業を「聞く」だけでは理解は深まらない。生徒自身が進んで考えていける授業づくりを心がけたい。「わかりやすい＝思考が深まる」ではないので、単にわかりやすい授業ではなく生徒の思考が深まる授業を展開したい。
実践 物理基礎	少人数で全員学習意欲があり、授業中も積極的に取り組んでおり、評価も良好である。さらに、教材に工夫を加えながら、物理のおもしろさや考え方をしっかりと伝えたい。
化学	体験的・協調的な学習を多くの場面で取り入れていき、生徒の意欲・授業の進度・レベルなどは良好な意見が多かった。生徒が主体的に学習していく授業を整えながら、学力向上へ結びつけるよう、更に授業進化の必要性を感じる。
実践 化学基礎	授業の難易度やスピードについてはほとんどの生徒が満足しているが、問題演習が多くなっていてグループ学習や発表などの実践が不十分である。生徒の主体的な活動を通して化学の内容への関心をもっと高められるような工夫を行っていきたい。
生物	生徒の意欲、授業の進度・レベルなどは良好な意見が多かった。多くの生徒が授業に集中している。今後は先端の内容を含め、高度な(取組がいのある)内容を扱う授業も心掛けたい。
実践 地学基礎	進度、難易度ともに多くの生徒が肯定的に回答している。地学は自然災害や防災など生活に直結した科目である。身近な話題も取り入れながら授業を進めていきたい。また、グループ学習を適切なタイミング、手法で実施し、生徒の理解を進めたい。
コミュニケーション英語Ⅲ	総じて授業満足度は高く、積極的に学習に取り組んでいる姿勢がうかがえる。協調的学習としてのペアワーク、グループワークでの言語活動が効果的に機能し、生徒一人一人が自律的な学習者へと着実に育っている。
英語表現Ⅱ	どのクラスでも授業満足度は高く、積極的に授業に参加している様子が見える。協調的学習としてのペアワーク、グループワークを取り入れた結果、意欲も高く、「書く」活動と、「話す」活動が有機的に統合するような授業デザインが効果的に機能しているように思える。
保健体育	後期で男女共修選択制授業を実施した。これまでの取り組みを基本に、リーダーが中心となりメンバーと協力し合いながら、活発な生徒主体の取り組みをみることができた。技能向上の楽しさを味わいながら、卒業後の生涯体育につながる力を身に付けることができたと感じる。